



# ふたまたせ



【学校ホームページのQRコード】  
随時更新中!

【めざす学校像】“ひたむきで ゆくもりのある さわやかな 二俣瀬小学校”

「しなやかに前進し、成長する」乙巳(きのえ・み)年に!

校長 中谷 靖彦



あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、二俣瀬地域の皆様にとって2025年が希望と成長に満ちた一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

今年は巳年、蛇年です。この蛇は、脱皮を繰り返し、成長していく生き物です。そのため、「再生と成長」を象徴するものと言われています。同じように、私たちも新しい経験や学びを通じて自分を成長させることができる年になるはず。ときには、失敗や困難を経験することもあるでしょう。しかし、それらを新たな挑戦の機会として受け入れることで、

自分自身を再生させ、さらに一步前に進むことができるはず。また、蛇はゆっくりとしなやかに、曲線を描きながら動くことから、「変化する環境に柔軟に対応する力」を象徴しているとも言われています。私たちも蛇のような柔軟性をもって、しなやかに課題を乗り越えていきたいものです。さらに、2025年の巳年は、本来の干支でいうと「乙巳(きのと・み)」となります。この「乙」は、しなやかに伸びる草木を指すそうです。時間をかけて花を咲かせ実をつけることから、「困難な状況にあっても紆余曲折しながら、根気よく粘り強く進む忍耐力」を象徴するとも言われています。また、草は生い茂るイメージから、「周囲との協力や調和、チームワークを大切にする」という意味もあるそうです。つまり、「乙」と「巳」に共通するのは、「しなやかさや柔軟性、そして成長」となります。物事を柔軟に考え、周囲の人と協力してしなやかに対応しながら、二俣瀬地域みんなの成長につなげていく年にしましょう。

さて、昨年元旦に起こった能登半島地震から一年が経ちました。能登地方の一日も早い復興を祈念いたします。最後に、谷川俊太郎さんの「そのあと」という詩を右に紹介します。この詩を読むたびに、生きていることのすばらしさと、生きることのきびしさを同時に考えてしまいます。「そのあと」をどう生きるか、21世紀の中盤に向かっていく私たちに託された一筋の道をしっかりと歩いていきたいと思ひます。

そのあと

そのあとがある  
大切なひとを失ったあと  
もうあとはないと思つたあと  
すべてが終わつたと知つたあとにも  
終わらないそのあとがある

そのあとは一筋に  
霧の中へ消えている  
そのあとは限りなく  
青くひろがっている

そのあとがある  
世界にそして  
ひとりひとりの心に

谷川俊太郎

## 迎春準備に感謝!

昨年末、地域の方々が、玄関前の門松・しめ縄飾りを準備してくださいました。そのおかげで、二俣瀬小学校の2025年をとても清々しい気持ちで迎えることができます。地域のご厚意に心より感謝申し上げます。地域とともに歩む学校づくりを、これからさらに推進して参ります。



## 厚東川中学校区4校合同駅伝大会・交流会について

昨年12月10日(火)に予定していた「第2回4校合同駅伝大会・交流会」は、インフルエンザ流行のため中止といたしました。厚東川中・厚東小・小野小・二俣瀬小の4校で検討を重ねてきましたが、3学期は各校とも行事等が多く、日程の調整がつかせませんでした。そのため、今年度の4校合同駅伝大会は中止といたします。役員等でご協力をお願いしていた保護者・地域の皆様方には感謝申し上げます。今年度、4校の保護者・地域の皆様と考へたスローガン「熱くなれ! チーム厚東川 新たな絆へ!!!」は、来年度に引き継いでいきます。

今年度は4校の交流会にも力を入れて取り組み、中学生を中心に準備を進めて参りました。そこで、各校・各地域のことを知ってもらう「ジェスチャーゲーム」や「〇×クイズ」を、ICT機器を活用し、各校で動画に撮って4校で交流し合うようにしました。3学期に実施し、4校のつながりを少しでも感じられる機会にしていきたいと考えています。

